

## 外国語を習得するのに必要なこと

課題やレポート等で「外国語の習得」に初めて取り組む際にはどのような資料が有効なのでしょうか。「外国語の習得」を学ぶうえで読んでおくべき資料・ツールをあげました。みなさんの学びの参考にしてみてください。

本を探するとき、こんなキーワードで探してみよう

第二言語習得 インプット アウトプット 学習ストラテジー バイリンガリズム など

### 図書館にある資料の一例

**参考図書** ☆テーマについて調べたり、基本的な事柄を把握したりするときに便利！1F 和参考書にある資料は貸出できませんので注意してください。

書名・著者・出版社 など	所在場所	請求記号	資料ID	ポイント
『応用言語学事典』小池生夫編集主幹，研究社，2003.4	1 F 和参考書	803.0/OG-Z	10+0142153	「言語とそれに関する諸科学」である応用言語学全般が展望できる。
『英語学・言語学用語辞典』中野弘三他監修，開拓社，2015.11	1 F 和開図書	D	98+0005465	英語学・言語学研究を11の分野に分けて簡潔に用語解説がされている。
『データで読む英語教育の常識』高梨芳郎，研究社，2009.8	3 F 和開図書	375.893/TY-D	10+0319326	英語教育の実証研究によって明らかにされてきた「事実」を客観的な数値をとおして解説した英語教育データブック。

**入門書** ☆基礎を学んでみよう。

書名・著者・出版社 など	所在場所	請求記号	資料ID	ポイント
『英語学習のメカニズム』廣森友人，大修館書店，2015.12	3 F 和開図書	830.7/HT-E	10+0319324	第二言語習得理論の基礎・基本に基づき、学習者の個性・適性に合った英語学習法までわかる。
『第二言語習得研究から見た効果的な英語学習法・指導法』村野井仁，大修館書店，2006.4	3 F 和開図書	830.7/MH-D	10+0319327	教室における指導が第二言語習得に与える影響を解明する「教室第二言語習得研究」の成果をもとに、インプット・アウトプット中心の英語学習法等の重要性を提示する。
『外国語学習の科学：第二言語習得論とは何か』白井恭弘，岩波書店，2008.9	3 F 和開図書	807.0/SY-G/*	10+0319328	外国語を身につけるという現象を言語学、心理学、認知科学などの成果をもとに解明し、そこから効率的な外国語学習の方法を導き出す第二言語習得研究の成果を紹介してくれる。

**専門的な図書** ☆より深く学ぶにはこちらを読もう！

書名・著者・出版社など	所在場所	請求記号	資料ID	ポイント
『第二言語習得：SLA 研究と外国語教育』佐野富士子他（編）・大学英語教育学会監修，大修館書店，2011.7	3 F 和開図書	830.7/EK-T/5	10+0252062	英語の習得には、年齢などの学習者要因がどのように関係するのか。また、どのような過程で上達していくのか様々な観点から解説されている。
『言語学習と学習ストラテジー：自律学習に向けた応用言語学からのアプローチ』尾関直子他編・大学英語教育学会学習ストラテジー研究会編著，リーベル出版，2005.6	3 F 和開図書	807.0/GG-G	10+0178594	自律的学習能力と実践的コミュニケーション能力の同時育成が可能となる学習ストラテジーの理論と実践について論じた書。

**データベース・関連 Web ページ**

☆専門的な情報を探るときに便利です。データベースで本や論文を探したら、図書館にあるか OPAC（蔵書検索）や CiNii で調べましょう！

データベース・Web ページ名	URL	ポイント
Second Language（日本第二言語習得学会(J-STAGE にて公開)）	<a href="https://www.jstage.jst.go.jp/browse/secondlanguage2002/-char/ja/">https://www.jstage.jst.go.jp/browse/secondlanguage2002/-char/ja/</a>	日本における第二言語習得研究の成果をみることができる。実証的データに基づいて理論的に第二言語の発達を研究し、第二言語の習得過程を明らかにする。

※上記 URL は 2017 年 10 月現在のものです。